

防災学習会

ともに考えよう 大災害への備え

〔熊谷市危機管理課〕



1

タイトル:

熊谷市危機管理課作成 防災学習会 ともに考えよう、大災害への備え

【読み原稿】

こんにちは。

私は●●●●(組織名)の●●●●(発話者名)です。

このたびはこの防災学習会に御参加くださり、ありがとうございます。

この講座の中で使用するのは、

今ご覧になっている画面の熊谷市防災ハザードマップ

(と、お配りした「かんたんテスト」プリント)です。▶

本日お話すること

- ◆ 避難の 3 つのポイント
- ◆ ハザードマップの解説
【洪水・地震】
- ◆ 災害に備えて、防災情報

2

本日おはなしすることは、大きく分けて次の3点です。

いざというときに知っていてほしい避難の3つのポイント、

ご自宅のリスクを知ることができる、ハザードマップの解説

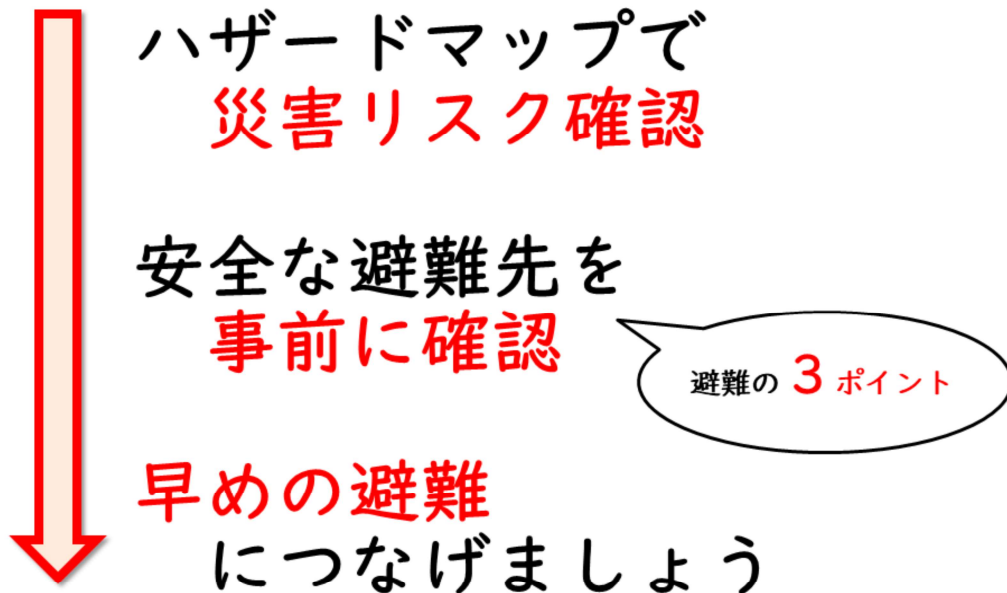
そのほか、知っておきたいものとして、災害に備えるための、防災情報

この3点について、お話します。▶



さっそく、避難の3つのポイントについて、お話します。▶

ハザードマップの使い方



4

熊谷市防災ハザードマップは、このようにお使いいただくイメージです。

「ハザードマップで、災害のリスクを確認」

「安全な避難先を事前に確認」

そして「早めの避難につなげましょう」

このような流れでハザードマップを使っていただくのですが、

そのときに、知っておいていただきたいものが、

これからご紹介する避難の3つのポイントです。▶

地域ごとの避難先の指定はありません

安全でたどり着きやすい
避難所や避難場所をご
利用ください。



まるいち、

「地域ごとの避難先の指定はありません」

「安全でたどり着きやすい避難所や避難場所をご利用ください」

熊谷市では、

「この地域の方は、この避難所を利用しなくてはならない」などの、
地域指定はしておりません。

命を守ることを最優先に考え、

開設している避難所のうち、安全にたどり着けるところをご利用ください。▶

親戚・知人宅への避難

市が指定する避難所以外にも、
安全な地域に住む親戚・知人宅
への避難も検討しましょう。



6

さらに、

「親戚・知人宅への避難」

「市が指定する避難所以外にも、

安全な地域に住む親せき・知人宅への避難も検討しましょう。」

避難情報が出た際に、

「市が開設する指定避難所に行くこと」ばかりが

適切な避難行動とは限りません。

事前に相談しておき、

安全な地域に住む方のところに身を寄せることも、

適切な避難行動の一つです。▶

在宅避難

安全な地域に住む人は、在宅避難
(洪水時は2階以上への垂直避難)
も検討しましょう。



7

まるさん、

「在宅避難」

「安全な地域に住む人は、在宅避難も検討しましょう。」

意外に思われるかもしれませんが、まるに で紹介した、
「安全な地域にある親戚や知人宅への避難」と同様に、
自宅が安全な地域にあれば、
自宅での在宅避難も適切な避難行動の一つです。

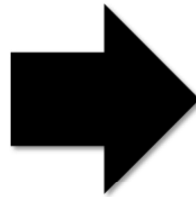
「自宅が安全な地域にあるのかどうか」が
判断の基準になります。▶

地域で協力して早めの避難を

隣近所

自治会

自主防災会



声掛け
避難支援

8

ご紹介したこれらの
「3つの避難のポイント」を踏まえた上で、
地域で協力して、早めの避難をお願いします。

災害時には、
慌ててしまったり、頼れる家族が不在にしていたりと、
様々な事情から、
自分一人で判断をして避難行動をとることが難しくなると考えられます。

隣近所・自治会・自主防災会などで声を掛け合うことで、
早めの避難ができるようになります。▶

ハザードマップの解説

洪水

確認してみましょう



9

それではここから、
熊谷市防災ハザードマップの見方の解説に入ります。

はじめに洪水のリスク、
次に地震のリスクを確認していきます。▶

洪水ハザードマップ

想定される最大の雨

1000年に
一度の大雨

参考

1年に一度起こる	今年100%起こる
10年に一度起こる	今年10%起こる
100年に一度起こる	今年1%起こる
1000年に一度起こる	今年0.1%起こる

10

洪水ハザードマップは、
「想定される最大の雨が降り、川が決壊したらどうなるか」という
シミュレーションをしたものです。

この「想定される最大の雨」は
「1000年に一度の大雨」と表現されます。

実感がなかなか湧かないと思いますので、
参考にパーセントで言い換えてみましょう。

とても簡単な言い換えをすると、1年に1度起こる場合は
「今年100パーセントの確率で起こる」と言えるでしょう。

10年に1度で「今年10パーセント」、
100年に1度で「今年1パーセント」、
1000年に1度で「今年0.1パーセントの確率で起こる」となります。

このように表現すると、より現実味がわいてくるかもしれません。▶

洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップとは・・・

国・県「浸水想定区域図」

の上に

市の避難所・避難場所等

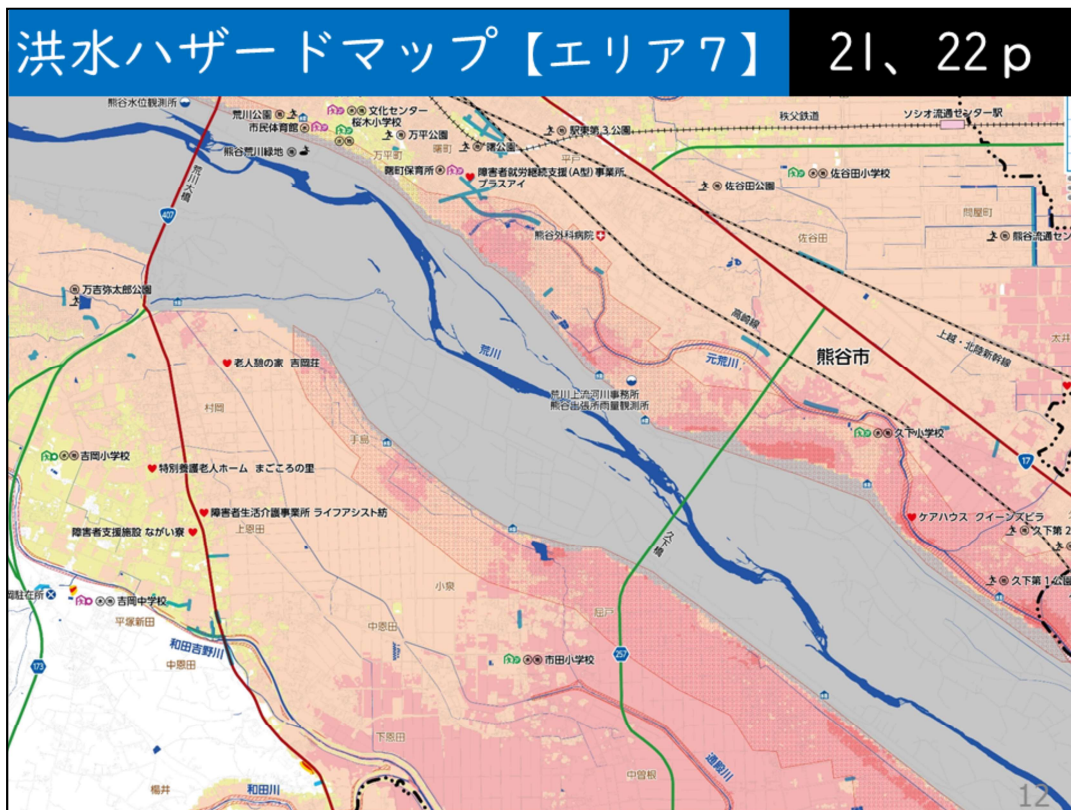
を掲載したマップ

11

洪水ハザードマップでは、
先ほどの「想定される最大の雨」のシミュレーションをもとに、
川が決壊して浸水が発生したときの図を作ります。

これを、浸水想定区域図(しんすい そうてい くいき ず)と呼びます。

「浸水が想定されるところがどこなのか」が
わかるようにした地図の上に
皆さんが避難先を考えたりできるように、
避難所などの情報を掲載しています。▶



それでは、実際の洪水ハザードマップを見てみましょう。

左下の、色が付いていない白いところをご覧ください。この場所には、川からの直接の水は届かない想定です。

一方、そのほかの、色が付いているところは、川からの直接の水が届いてしまう可能性があるところです。

言い換えると、「浸水想定があるところ」です。▶

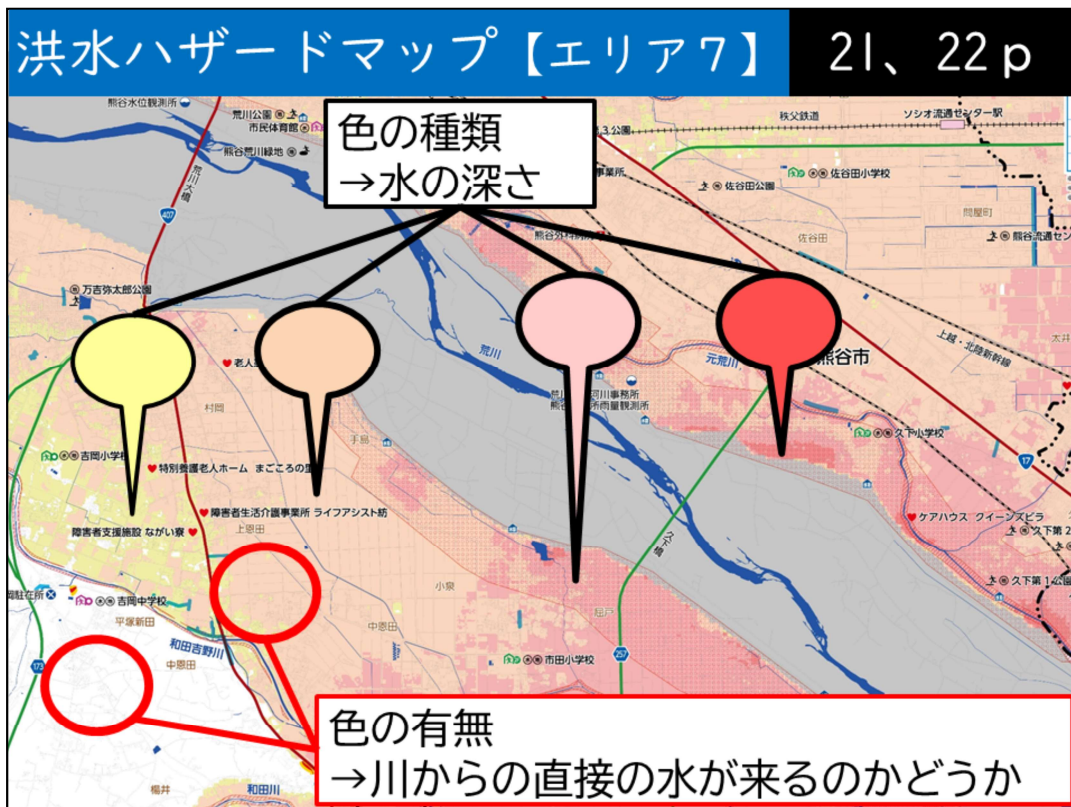
洪水ハザードマップ【エリア7】

21、22 p



つまり、
色が付いているか、付いていないかで、
「川からの直接の水が来るのか、来ないのか」がわかります。

では、「水が来た時にどれくらいの深さになるのか」は、
どのように表しているのでしょうか。▶



地図を見ると、

黄色、だいだい色、桃色、赤色の

色分けがあるのが確認できます。

これにより、水の深さがわかるようになっています。

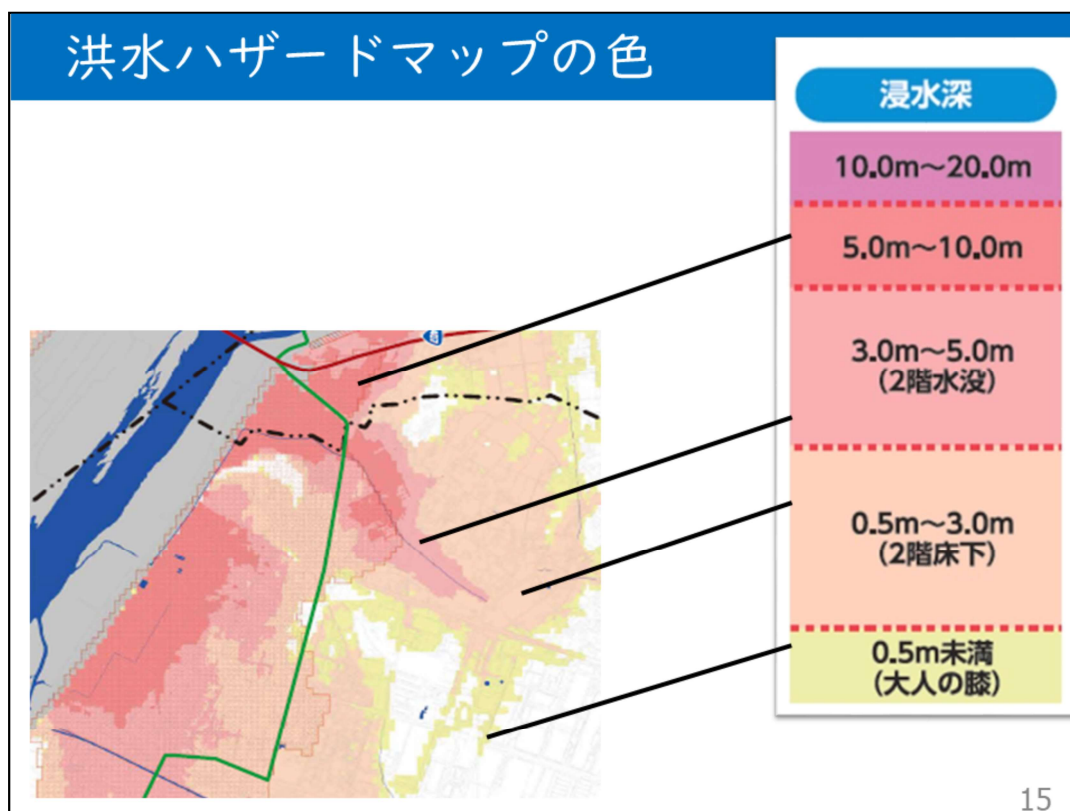
しかし、ここで疑問がわいた方もいるでしょう。

どこか一カ所の堤防の決壊で、色が付いているところ全体が
水に浸かってしまうのでしょうか。

実は、様々なパターンを考えて、この図は作られています。

水に浸かる可能性が少しでもあれば色が付くようになっています。

仕組みを見ていきましょう。▶



色と凡例を見比べます。色が黄色の場合は、川が決壊したときに、その場所には、0.5m未満の深さの浸水が起こるリスクがあります。0.5mは大人の膝丈(ひざたけ)程度の深さです。

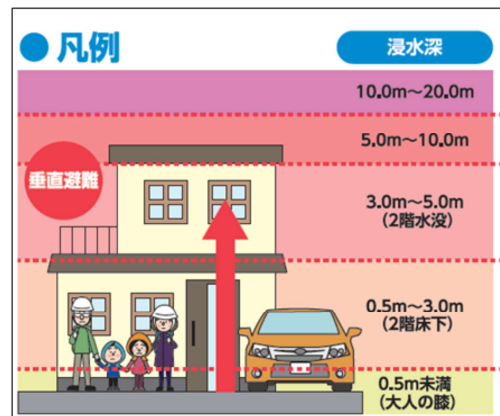
次に、色がだいたい色の場合は、川が決壊したときに、その場所には、0.5mから3m程度の深さの浸水が起こるリスクがあります。3mというと、2階の床くらいのイメージです。台風や大雨のときは気象情報等に注意し、「2階以上での在宅避難」か、別の場所に移動する「立ち退き避難」が必要です。

次に、色が桃色の場合は、3mから5mです。5mというと、3階の床くらいをイメージするとよいでしょう。台風や大雨のときは気象情報等に注意し、「3階以上での「在宅避難」か、別の場所に移動する「立ち退き避難」が必要です。

次に、色が赤色の場合は、5mから10mです。台風や大雨のときは、気象情報等に注意し、別の場所に移動する「立ち退き避難」が望ましいと言えるでしょう。▶
(参考: 紫色は、市内では、特殊な地形によるものを除き、該当はありません。)

使ってみよう！ 洪水ハザードマップ

- ①自宅等の場所に○をつけ、その場所の色を確認する。
- ②凡例と見比べて浸水深を確認する。



私が調べた場所の浸水深は

でした。

それでは実際に洪水ハザードマップを使ってみましょう。

お持ちのハザードマップで自宅や、よく行く場所など、
1カ所を選んで、しるしをつけてみてください。

その場所のハザードマップの色は何色ですか？
凡例の中から色が一緒のものを見つけてください。

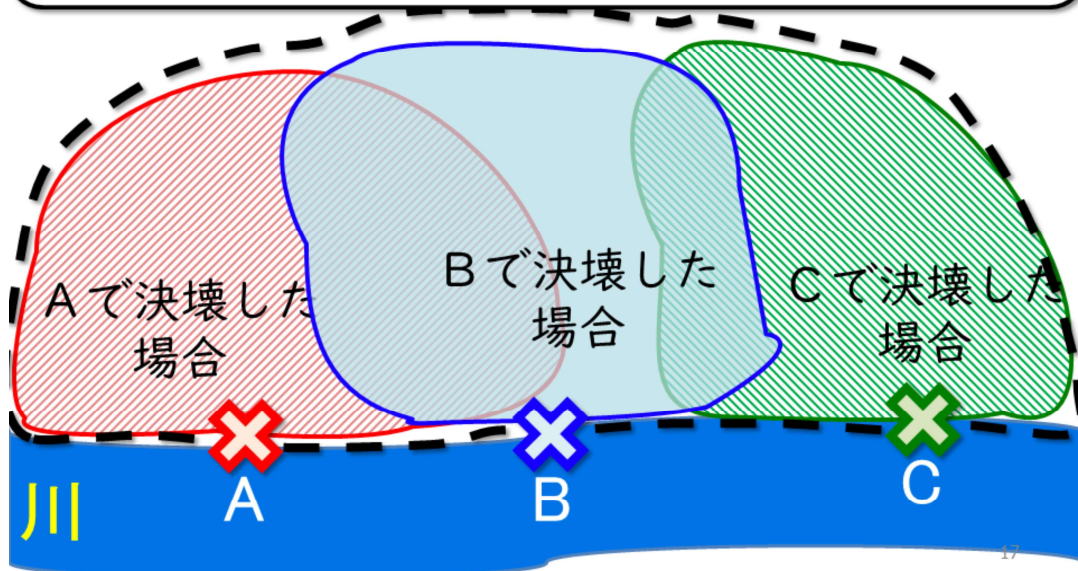
見つかったでしょうか。

見つかりましたら、凡例の中の、
0.5m未満、0.5mから3m、3mから5m、5mから10m、の
いずれかの言葉を四角の空欄の中に入れてください。

もし、色が無い場所だったときは、「なし」と書いてください。

これで、その場所の浸水リスクがわかりました。▶

洪水ハザードマップとは・・・
A、B、C…の浸水区域をすべて重ね合わせ、
その地区の「浸水が一番深くなる場合」を表示



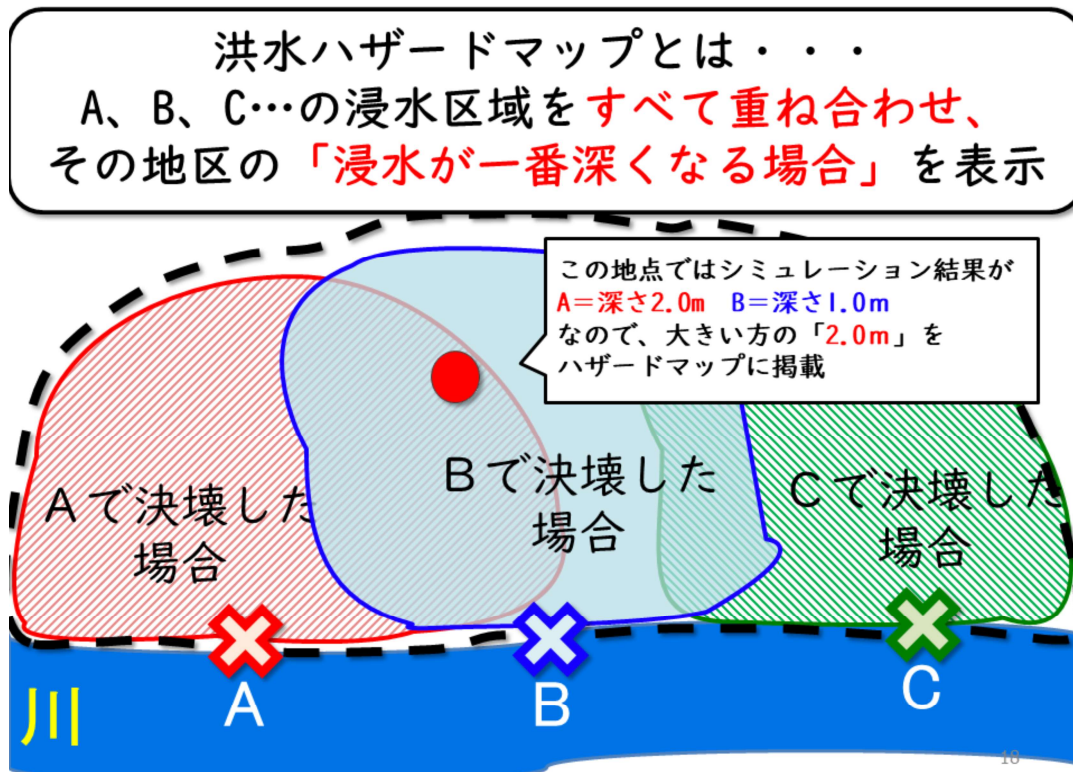
どれくらいの深さの水が来るかはわかりましたが、
川岸はとても長いので、
具体的に堤防の、どの場所が決壊したときのシミュレーションなのか
疑問に思った方もいるでしょう。

実は、どこか1カ所だけのシミュレーションではなく、
いくつものシミュレーションを作って組み合わせているのです。

図でご説明します。

川の堤防のうち、Aの地点が決壊したときと、
BやCの地点が決壊したとき とでは、
どこまで水が浸水してくるかは変わってきます。

そのため、A・B・C全ての地点の浸水シミュレーションをチェックし、
その場所が最も浸水が深くなる場合のデータを、地図上に載せています。▶



画面中央の赤いマルをご覧ください。
この場所は、
Aの地点が決壊した場合は浸水は2m、
Bの地点が決壊した場合は1m、
Cの地点が決壊した場合は水が来ない、
という3つのシミュレーションが出ました。

もし、どれか1つのシミュレーションだけを選んで
洪水ハザードマップを作成してしまうと大変なことになります。

例えば、Cの地点のシミュレーションだけを地図にした場合、
実際にはA地点やB地点が決壊すると浸水してしまうリスクがあるのに、
浸水想定ゼロ、となってしまうのです。

これではいけませんので、それぞれのシミュレーションを見比べて、
一番大きい値の色を洪水ハザードマップに載せています。

とても簡単にいうと、
「その場所が、最も影響を受けるとき、どれくらいの浸水の深さになるか」を
チェックしてハザードマップに掲載しています。▶

荒川・利根川・県管理河川マップ

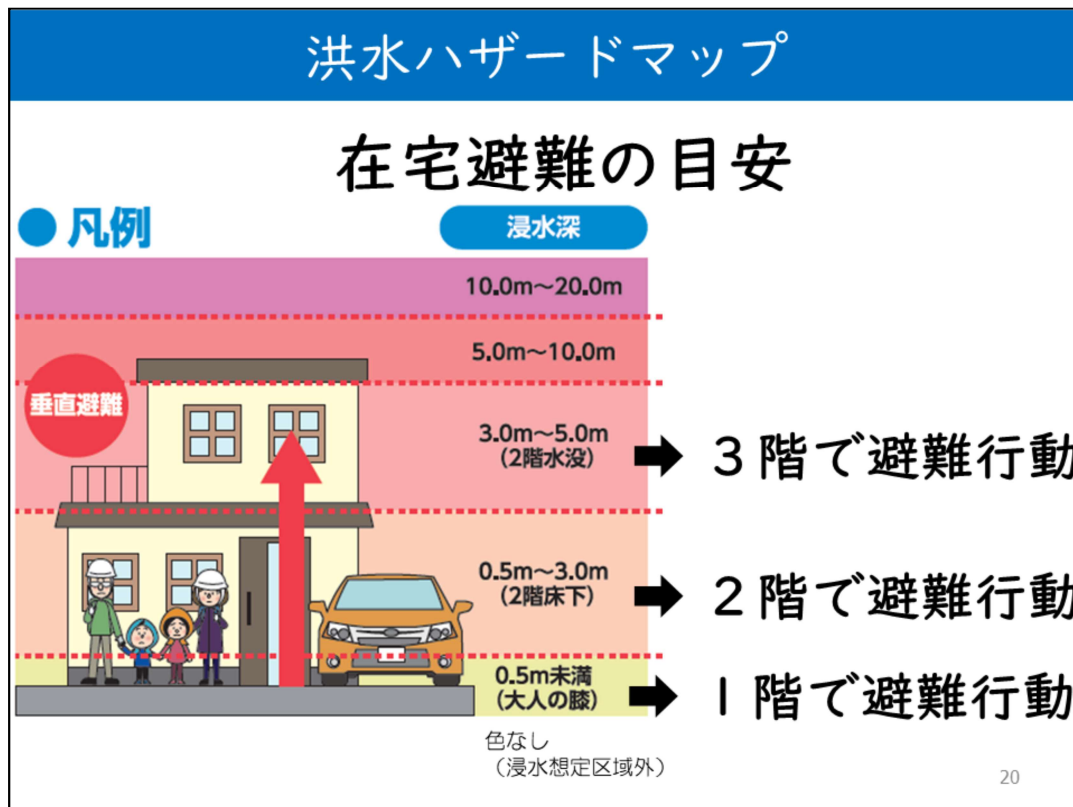
重ね合わせ図マップ
(全河川)

19

ちなみに、熊谷市内には複数の川があります。

どれか一つの川のリスクしか載せていない場合、
他の川が決壊した場合、とても危険です。

そのため、荒川・利根川といった
国管理河川(くに かんり かせん)や、
福川(ふくかわ)などの
県管理河川(けん かんり かせん)のリスクの情報を
まとめて盛り込んだものになっています。▶



では、この洪水のリスク情報をどのように活用すればよいでしょうか。

一つの方法として、

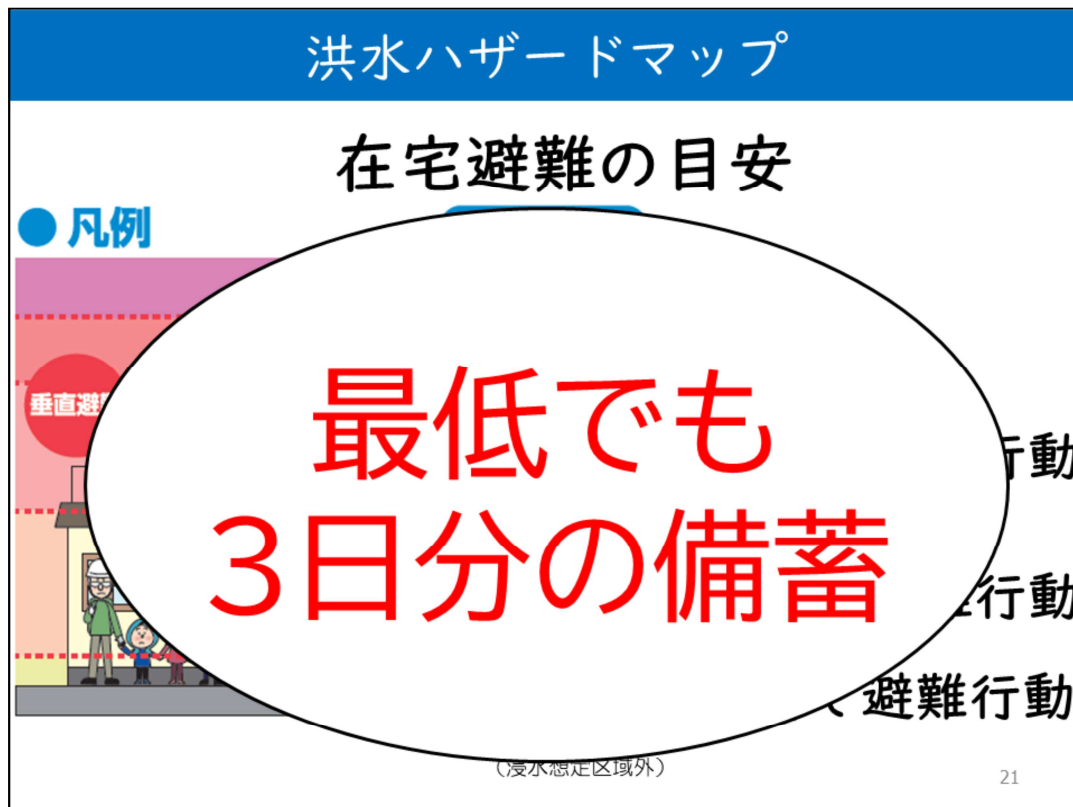
わが家は在宅避難ができるのかどうか、をチェックすることに使えます。

在宅避難をする場合の目安を画面に簡単に示します。

在宅避難をする場合は、1階より2階、2階より3階というように、より高い場所に滞在するよう心掛けてください。
これを垂直避難と言います。

例えば、浸水深(しんすいしん)が0.5mから3mの
だいたい色の場所にお住まいの方で、平屋建て(ひらやだて)の場合、
2階への垂直避難ができませんので、
別の安全な場所に、立ち退き避難をしてください。

在宅避難をしているときに、万が一、川が決壊して浸水が発生すると
孤立状態になることも考えられます。▶



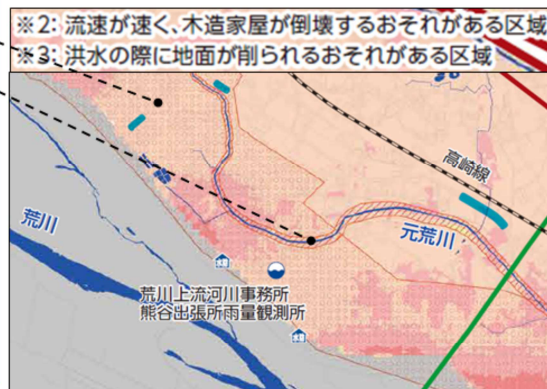
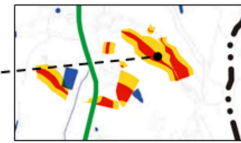
そのため、食料等の備えを事前にしっかり行ってください。
最低でも、3日分の確保をお願いします。

在宅避難は、
普段過ごす場所で避難行動を取ることから、
体にストレスをあまりかけずに済むことや、
移動の時にけがをするリスクを避けられることなど、
メリットが多くあります。

ご自宅のリスクをしっかり調べた上でのぞむとよいでしょう。▶

凡例

	内水浸水履歴区域
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域
	家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)※2
	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)※3
	地下道・地下歩道
	鉄道(JR)
	鉄道(私鉄)
	国道
	県道
	行政界



22

洪水ハザードマップの活用方法や
在宅避難についてご説明しましたが、
事前の立ち退き避難をしてほしい場所が存在します。

それは、次の4つの区域に該当する場所です。

土砂災害 警戒区域

(どしゃさいがい けいかい くいき)

土砂災害 特別警戒区域

(どしゃさいがい とくべつけいかい くいき)

家屋倒壊等 氾濫想定区域かつ氾濫流

(かおく とうかいとう はんらん そうてい くいき かつこ はんらんりゅう)

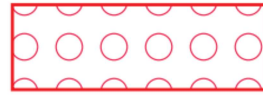
家屋倒壊等 氾濫想定区域かつ河岸侵食

(かおく とうかいとう はんらん そうてい くいき かつこ かがんしんしょく)

この4つです。

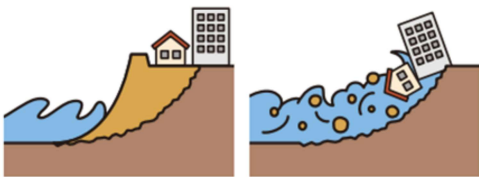
土砂災害については、本市では荒川よりも南の地域に
複数箇所ありますので、ご注意ください。▶

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）



流速が早いため、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります

家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）



地面が削られ家屋は
建物ごと崩落する
おそれがあります

23

家屋倒壊等氾濫想定区域は、2つに分けられます。

まるいメッシュで示される場所は
「氾濫流」の恐れがあるところで、
川から来た水の流速が早いため、
木造家屋が倒壊するおそれがあります。

斜めの線のメッシュで示される場所は、
河岸侵食の恐れがあるところで、
川の水により地面が削られ、
家屋が建物ごと崩落するおそれがあります。

これらの場所については、
気象情報等に注意し、早期の立退き避難をお願いします。▶

ハザードマップの解説

地震

確認してみましょう



24

それではここから、
地震ハザードマップの情報を見ていきましょう。▶

地震ハザードマップ

29～30p

震 度	計測震度※
震度 7	6.5以上
震度 6 強	6.4
	6.3
	6.2
	6.1
	6.0
震度 6 弱	5.5～5.9
震度 5 強	5.0～5.4

25

地震ハザードマップは、
熊谷市への揺れの影響が、最も大きいと考えられる地震を一つ想定し、
その揺れの大きさを、地図に色分けで示したものです。

ニュースなどで耳にする「震度7」などの震度は、
実は、さらに細かく分けることができます。
震度5は、震度5弱と5強に、
震度6は、震度6弱と6強に分けられます。

また、コメマークの「計測震度」の部分をご覧くださいと
震度6強が5段階に分かれています。

これは、震度計で計測した場合の震度です。▶

関東平野北西縁断層帯地震

関東平野北西縁断層帯位置図



26

では、熊谷市にとって、最も揺れの影響が大きい地震とは、どの地震になるのでしょうか。それは、首都直下地震の一つ、関東平野北西縁断層帯地震(かんとうへいや ほくせいえん だんそうたい じしん)です。

画面の赤い線をご覧ください。

この線を見ると、まるでこのような大きな一本の断層がズバッと、群馬県から、さいたま市方面に向かって、伸びているように見えますが、これは単独の断層ではなく、複数の断層が帯のようにまとまっている断層帯(だんそうたい)を示したものです。

この断層帯のどこが震源になるかというのは事前にはわかりません。そのため、震源になる破壊開始点(はかいかいしてん)を3箇所、間隔を開けて設定し、それぞれシミュレーションを行っています。

このうち熊谷市に影響が最も大きいと考えられる「破壊開始点:中央」(はかいかいしてん ちゅうおう)を採用し、地震ハザードマップを作成しています。▶

揺れやすさマップ

揺れやすさマップとは
 震源地の位置と想定する地震の規模、さらに地震を引起こす断層からの距離が近く、地盤の軟弱な地域では、揺れが大きくなります。
 想定地震は、新台町の震害が最も大きくなると想定される関東平野北西部断層を想定しています。

29～30p

震 度	計測震度※
震度 7	6.5以上
	6.4
	6.3
	6.2
	6.1
震度 6 強	6.0
	5.5～5.9
震度 6 弱	5.0～5.4
震度 5 強	

私が調べた場所の

計測震度は です。

震度は です。

揺れやすさマップを実際に見てみましょう。
 市内でも、震度7が想定される場所が存在します。

洪水ハザードマップのときと同様に、
 調べたい場所の色を見てみてください。

計測震度はいくつでしょうか。
 また、震度はいくつでしょうか。
 空欄に書き込んでください。

では、これを、どのように活用すればよいでしょうか。▶



まずは、
ある震度のときにどのような状況になるか、
イメージをしてみましょう。▶

震 度	計測震度※
震度 7	6.5以上
	6.4
	6.3
震度 6 強	6.2
	6.1
	6.0
震度 6 弱	5.5～5.9
震度 5 強	5.0～5.4

6 弱



耐震性が高い 耐震性が低い

【震度 6 弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

5 強



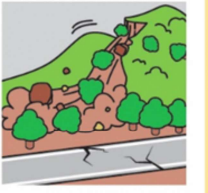
【震度 5 強】

- 物につかまらないと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度5強では、
物につかまらないと歩くことが難しい、
固定していない家具が倒れることがある、

震度6弱では、
立っていることが困難になる、
固定していない家具の大半が移動し、
倒れるものがある▶

6 強

耐震性が高い

耐震性が低い

【震度 6 強】

- はわないと動くことができない、飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

7




耐震性が高い

耐震性が低い

【震度 7】

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

震 度	計測震度※
震度 7	6.5以上
震度 6 強	6.4
	6.3
	6.2
	6.1
震度 6 弱	6.0
	5.9
震度 6 弱	5.5～5.9
震度 5 強	5.0～5.4

震度6強では、
はわないと動くことができない、
固定していない家具のほとんどが移動し、
倒れるものが増える、

震度7では、
耐震性の高い建物でも、まれに傾くことがある

という状況です。

イメージできましたでしょうか。

次に、地震がおきる前の備えを考えてみましょう。▶

お住まいを今すぐチェック！

27～28p

地震が起きると、家具の転倒、家電製品の落下、窓ガラスの破損などが原因となり、大きなケガをするおそれがあります。事前に家具の配置や取り付けを工夫し、わが家の安全性を高めましょう。

収納にひと工夫

ダンスや本棚などにものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納しましょう。



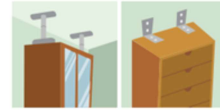
家具の下に板やパッドなどを噛ませ、壁にもたれ気味に配置しましょう。



逃げ道がふさがれないように、出入口や通路には、なるべく物を置かないようにしましょう。



家具の固定



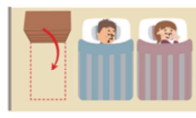
壁や柱と家具を固定するタイプ、天井との間につっかえ棒をして固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

窓ガラス



ガラス飛散防止フィルムを貼り、割れたガラスが飛び散るのを防ぎましょう。

寝ている間の地震対策



寝ている間に家具が倒れてこないように、配置しましょう。

棚・引出しの対策



飛び出し防止枠を設置し、地震発生時に、引出しが開かないように固定しましょう。

照明器具に要注意



強い地震では吊り下げ式照明も激しく揺れ、落下や破損のおそれがあります。チェーンなどで補強しましょう。

阪神・淡路大震災「死因のほとんどは、家屋の倒壊や、家具などの転倒による圧迫死だった」

出典：内閣府HP「阪神・淡路大震災教訓情報資料集【02】人的被害」

地震が起きると、
家具の転倒、家電製品の落下、
窓ガラスの破損などが原因となり、
大きなケガをするおそれがあります。

事前に家具の配置や、取り付けを工夫し、
わが家の安全性を高めましょう。

阪神・淡路大震災では、
「死因のほとんどは、家屋の倒壊や、
家具などの転倒による圧迫死だった」という情報があります。

家具の固定については、特に積極的に実施してください。▶

備蓄品 「うちに備えておく」もの

- ☐ 食料や水(最低3日分！できれば1週間分) × 家族分
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしておくと、常に食料の備蓄が可能！
- ☐ 生活用品
例えば、ティッシュ・トイレットペーパー・ラップ・ゴミ袋・ポリタンク・携帯用トイレ…など



ローリングストックで在宅避難に備えましょう

ローリングストックとは、日常生活で使用する水や食料のうち、保存のきくものを、3日分備蓄しておき、古いものから普段の食卓で食べ、食べた分だけ後から買い足す方法です。

これにより、備蓄品を無駄にせず、災害時も普段から食べ慣れた食品を非常食として食べることができます。



加えて、大地震の場合は、
物流の途絶（とぜつ）により、モノが手に入らない状況が考えられます。
食料・水、生活用品など、
最低でも3日分は家族の人数に応じて備えておいてください。

市販の保存食などは、価格が割高なことが多く、場所も取ります。

実は、発災後の数日間を乗り切れる量が、
そのときにあればよいので、保存食で備えないといけない、
ということはないのです。

このような考え方から、ローリングストックという方法をお勧めしています。

ここにあるように、
「保存のきくものを3日分備蓄しておき、
古いものから普段の食卓で食べ、食べた分だけあとから買い足す方法」です。
常に一定の量が家にあるようになります。

停電を想定して、常温保存可能なものがよいでしょう。▶

防災情報

33

最後に、
災害への備えに欠かせない、防災情報についてご案内します。▶

■ 警戒レベルと防災気象情報の関係

	警戒 レベル	市からの情報	住民がとるべき行動	警報等	指定河川洪水予報
	5	緊急安全確保 ※可能な範囲で発令	災害がすでに発生しており、 命を守るための最善の行動をとる	大雨特別警報	氾濫発生情報
	4	避難指示	危険な場所から速やかに避難 ・公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所 に避難しましょう。	土砂災害 警戒情報	氾濫危険情報
	3	高齢者等避難	高齢者等は速やかに避難 ・避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、 乳幼児等)とその支援者は避難しましょう。その他の 人は、避難の準備を整えましょう。	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報
	2		ハザードマップ等で避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報
	1		災害への心構えを高める	早期注意情報 (警報級の可能性)	

34

大雨、台風などの水害時の防災情報は、ご覧のとおりです。

右から、河川の状況に関する情報、隣が、気象に関する注意報や警報です。
とても簡単にまとめてしまうと、
これらの情報は、川や、気象の状況を見て、発令されます。

そして、一番左の市からの情報については、避難情報と呼ばれます。
高齢者等避難(こうれいしゃとうひなん)、避難指示、
緊急安全確保、の順に危険度や切迫度が高くなります。

避難情報は、気象の状況を踏まえ、
住民を避難させるかどうかを検討し、市が発令します。

例えば、今、大雨が降っている状況であっても、すぐやむ見込みの場合は、
避難情報を出さないことも考えられます。

雨風が激しいときや、夜間の避難は、ものが飛んできたり、転倒したりと、
外に出て移動すること自体が、大変危険なものだからです。▶

■ 警戒レベルと防災気象情報の関係

警戒レベル	市からの情報	住民がとるべき行動	警報等	指定河川洪水予報
高	5	緊急安全確保 ※可能な範囲で発令	大雨特別警報	氾濫発生情報
↑	4	避難指示 ・危険な場所から速やかに避難 ・公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所へ避難しましょう。	土砂災害 警戒情報	氾濫危険情報
切迫性	3	高齢者等は速やかに避難 ・避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報
↓	2	ハザードマップ等で避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報
低	1	災害への心構えを高める	早期注意情報 (警報級の可能性)	

→ 早めの避難を心掛ける

35

そして、できる限り、避難指示を待たずに、
高齢者等避難の段階で避難行動を開始してください。

状況が急変することも考慮に入れると、
どんな人にとっても、早め早めの避難が大切だからです。

なお、ここでいう「避難」は、
必ずしも「避難所への避難」だけとは限りません。
在宅避難、垂直避難、安全な知人宅への避難、
そして、避難所への避難など、
広く「避難行動をとること」を指しています。▶

避難所開設の流れ

※ 災害の規模・状況により「第一避難所」、「第二避難所」を同じタイミングで開設することもあります。

避難所は、台風時は規模や降水量等を考慮し、地震時は施設の安全確認が済んだ後、地域ごとに段階的に開設します。
避難所の開設状況は地域によって異なりますので、市からの最新の情報を確認してご利用ください。

P37 情報を入手
しましょうを確認



36

避難情報が出た際に、
避難所に避難する場合は必ず
「その避難所が開設しているか」を確認してから
移動を始めてください。

台風などの際は、災害の規模や状況により、
第一避難所である小学校と、第二避難所である中学校を
同じタイミングで開設することもあります、
「建物の損傷により、その施設だけ開設ができない」
などの状況が考えられます。
開設状況の確認は必ず行ってください。

地震の場合は、第一避難所である小学校を
主に開設する想定です。
効果的な被災者支援を行うために、
人や物資といった資源を、ある程度集中させる必要があるからです。▶

避難所・避難場所の種類

● 自主避難所

台風時のみ

台風の上陸・接近のおそれや、市民からの問合せ状況をみて開設する、「避難情報が出る前に避難したい」という方むけの避難所です。本市への影響が小規模な台風の場合は、原則「くまびあ」1か所を、影響が大きい場合は4か所を開設します。

自主避難所名	所在地
スポーツ・文化村「くまびあ」	原島315
大里ふれあいセンター	船木台3-4-4
めぬま農業研修センター	弥藤吾2440
江南総合文化会館「ピピア」	千代325-1



38

台風時には、台風の上陸・接近のおそれや、市民からの問い合わせ状況を見て開設する、「自主避難所(じしゅひなんじょ)」というものが熊谷市には、あります。

これは「避難情報が出る前に避難したい」という方向けの避難所です。

避難情報が出ていない段階のうちは、備蓄物資の配給などはありません。▶

特
に
お
す
す
め
の
3
点
！



事前登録 熊谷市メール配信サービス
「メルくま」

携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、防災情報等をお届けするサービスです。下のコードからアクセスするか、
touroku@sg-p.jp
へ空メールを送り、返信メールの指示に従って登録してください。

配信内容は以下の項目を選択

- 防災無線情報
防災行政無線放送の内容を配信します
- 気象・震度情報
気象注意報情報等を配信します
- 災害情報
避難所開設・避難情報等を配信します



FMクマガヤ

災害時、市内の防災・避難情報等を伝えます。受信しづらい場合は、スマートフォンアプリまたは、パソコンから開くことができます。

FMクマガヤ
公式アプリ

FM
ラジオで **87.6MHz**



事前登録 Yahoo! 防災速報

台風の接近や避難所の開設状況などの緊急情報を配信します。

スマートフォンアプリで情報入手 登録方法

アプリをインストールして地域を「熊谷市」に設定してください。
下のコードからもアクセスできます。
利用方法についてはYahoo! 防災速報ホームページをご確認ください。




39

市ホームページで
避難所開設状況を確認すること以外にも、
今後の気象状況や、
ほかの地域の被害状況などについて情報収集を行い、
より安全な避難行動がとれるよう努めてください。

お勧めのツールはこちらの3点です。
メルくま、FMクマガヤ、ヤフー防災速報、です。

スマートフォンでのメール受信や
ラジオでの情報収集、
アプリでの地域を設定した情報収集など

2つ以上の異なる種類のものを扱えるとよいでしょう。▶

最後に

大災害時には、地域の誰もが被災者になります。

多くの不安を抱えた被災生活の中で、寸断されることのない「地域のつながり」があることは、一つの大きな安心材料になります。

このような「防災学習会」の趣旨を御理解いただき、講師をつとめてくださった方、参加してくださった皆様に深く感謝いたします。

全員でお互いに大きな拍手を送っていただければと思います。

熊谷市危機管理課 40

ここまでで内容は終わりです。

(必要に応じて「かんたんテスト」に移ってください。)

この度は、防災学習会に御参加いただき、ありがとうございました。

////////////////////////////////////

以下、防災に限らず、

講師の方の地域への思い等おはなしいただき、終了してください。

大役、お疲れ様でした。